

(財)エンジニアリング振興協会  
石油開発環境安全センター

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-4-6 CYD ビル  
TEL(03)3502-4447 / FAX(03)3502-3265  
URL: <http://www.ena.or.jp/SEC/>

- 委員会報告
- 会員の皆様へのお知らせ
  - ・第 325 回サロン・ド・エナ講演会開催報告
  - ・エン振協研究成果発表会 2010 開催案内
  - ・エンジニアリング シンポジウム 2010 開催案内
  - ・事務局の異動
- 会員の広場
  - ・日本エネルギー学会第 40 回記念大会 開催
  - ・海洋理工学会 平成 22 年度春季大会 開催他
- トピックス欄
  - ・METI ニュース他
  - ・拙句雑感

### 委員会報告

平成 22 年度第 1 回運営会議

日時：平成 22 年 6 月 15 日（火）

議題：平成 21 年度事業報告(案) 平成 21  
年度決算報告（案）  
諸規定の改正について（案）  
報告事項

新委員の紹介に続き、委員長として、平成 21 年度に引き続き佐野 正治殿（国際石油開発帝石(株)取締役専務執行役員）が互選により選任され、就任のご挨拶があり、引き続きご来賓の経済産業省 原子力安全・保安院 鉱山保安課藤田石油・ガス・国際班長からのご挨拶を頂いた。その後議事に入り、入澤常務理事より標記議題について説明があり、審議の結果、承認された。宮川常務理事より 5 月 31 日に一般財団法人への認可申請を行った報告があり、続いて、標記議題について説明があり、審議の結果、承認された。標記 議題について三浦副所長および畠山部長代理より報告があった。本委員会で承認された上記 は本部理事会に付議されることとなった。（会議の冒頭、入澤常務理事より前委員、吉田 恒夫殿（石油資源開発(株)常務取締役）の逝去について哀悼の辞が述べられた。）

平成 22 年度第 1 回企画委員会

日時：平成 22 年 6 月 15 日（火）

議題：平成 21 年度事業報告(案) 平成 21 年  
度決算報告（案）  
諸規定の改正について（案）  
報告事項

新委員の紹介に続き、新委員長、荻野 潔殿（石油資源開発(株)執行役員）の就任のご挨拶があり、ご来賓の経済産業省 原子力安全・保安院 鉱山保安課 西澤様からのご挨拶を頂いた。その後議事に入り、入澤常務理事より標記 議題について説明があり、審議の結果、承認された。宮川常務理事より 5 月 31 日に一般財団法人への認可申請を行った報告があり、続いて、標記議題について説明があり、審議の結果、承認された。標記 議題について三浦副所長および畠山部長代理より報告があった。本委員会で承認された上記 は、同日午後開催の運営会議に付議されることとなった。（会議の冒頭、入澤常務理事より前委員長、吉田 恒夫殿（石油資源開発(株)常務取締役）の逝去について哀悼の辞が述べられた。）

### 会員の皆様へのお知らせ

#### 1 . 第 325 回サロン・ド・エナ講演会 開催報告

当センターが担当した第 325 回サロン・ド・エナ講演会は、4 月 21 日（水）16 時 30 分から「新たな国産エネルギー資源への期待 - メタンハイドレート(MH)の研究開発の現状と展望 - 」と題して、東京大学・大学院工学系研究科付属 エネルギー・資源フロンティアセンター 准教授(MH21 研究コンソーシアムプロジェクトリーダー) 増田 昌敬氏を講師にお招きして開催されました。

今回は 95 名のご参加をいただき、我が国の新たな国産エネルギー資源と期待される MH について講師のお話を熱心に傾聴されていました。

講演では、はじめに、エネルギー資源としての MH への期待を述べられた後、MH21 研究コンソーシアムでのフェーズ 1 の研究成果、フェーズ 2 の研究目標とその技術的課題、および、フェーズ 2 の主目的である海洋でのガス産出試験に向けた研究状況、米国での MH 資源開発研究の動向、そして、終わりに、今後の MH 開発に向けた展望などを分かり易く且つ理路整然と語って頂き、いくつかの質疑を経て講演会は終了しました。

その後、会場を移して懇親会が開かれ、講師の増田先生を囲んでの議論や知人同士の談話の輪が広がり、盛会裏に閉会となりました。

来場された皆様には有為な情報が得られたものと確信しております。 (根田 記)

## 2 . エン振協研究成果発表会 2010 開催案内

当協会における平成 21 年度の研究成果発表会を平成 22 年 7 月 8 日～9 日の 2 日間にわたり開催いたします。7 月 8 日の 1 日目は、財団本部 業務部・技術部関連の発表です。

石油開発環境安全センター・地下開発利用研究センター関連の発表は下記のとおりです。是非多数の方々のご参加をお願いいたします。

- ・ 日 時：平成 22 年 7 月 9 日（金） 10：00～17：15
- ・ 会 場：当協会 6-CDE 会議室
- ・ 参加費：無料

### プ ロ グ ラ ム

(石油開発環境安全センター/地下開発利用研究センター)

7 月 9 日（金）	
開場（受付開始） 9:30	石油開発環境安全センター部門 開会の挨拶 10:00（入澤常務理事）
E - 1 <10:05～10:25>	「海洋掘採施設環境影響調査 - 撤去工事中の事前環境影響評価結果について」 堀内 和司氏（日本エヌ・ユー・エス(株)リスクマネジメント部門 HSE ユニット ユニットサブリーダー）
E - 2 <10:25～10:55>	「メタンハイドレート開発と環境影響評価 - 環境影響を予測・評価するための手法開発 - 」 鋤崎 俊二氏（(株)日本海洋生物研究所 技術研究部長）
<b>二酸化炭素地中貯留推進室部門</b>	
E - 3 <10:55～11:20>	「革新的ゼロエミッション石炭ガス化プロジェクト - CO2 輸送システムの概念設計のうちパイプライン輸送の概念設計(商用規模) - 」 古川 博宣（(財)エンジニアリング振興協会 石油開発環境安全センター 研究主幹）

<p>E - 4 &lt;11:20~11:40&gt; 「米国における CCS 活動状況調査 成果報告」</p> <p> 島山 孝 ((財)エンジニアリング振興協会 石油開発環境安全センター 技術調査部長代理)</p>
<p>E - 5 &lt;11:40~12:00&gt; 「CCS 実証事業の廃坑方法の検討調査 成果報告」</p> <p> 和田 泰剛 ((財)エンジニアリング振興協会 石油開発環境安全センター 研究主幹)</p>
<p>( 昼 休 み )</p>
<p>地下開発利用研究センター部門 開会の挨拶 13:00 (入澤常務理事)</p>
<p>E - 6 &lt;13:05~13:30&gt; 「首都圏大深度地下物流トンネル構想に関する調査」</p> <p> 海老 剛行氏 (鹿島建設株) 土木管理本部 土木技術部 課長)</p>
<p>E - 7 &lt;13:30~13:55&gt; 「地下管理型処理施設のバイオガス有効活用に関する調査」</p> <p> 隅倉 光博氏 (清水建設株) 技術研究所 地球環境技術センター 環境バイオグループ 研究員)</p>
<p>E - 8 &lt;13:55~14:20&gt; 「地下水・再生水利活用の地下空間利用に関する調査」</p> <p> 永山 智之氏 (西松建設株) 土木設計部 係長)</p>
<p>E - 9 &lt;14:20~14:45&gt; 「都市部における架空送電線の地下化に関する調査」</p> <p> 谷利 信明氏 (鹿島建設株) 土木管理本部 土木技術部 部長)</p>
<p>E - 10 &lt;14:45~15:10&gt; 「ミュー粒子を利用した地中空洞化調査システムに関するフィージビリティ スタディ」</p> <p> 鈴木 敬一氏 (川崎地質株) 事業本部 探査技術部 技術開発グループ 課長)</p>
<p>休 憩 10 分</p>
<p>E - 11 &lt;15:20~15:40&gt; 「情報通信技術を活用した災害時の緊急物資輸送車両支援システムに関する 調査研究」</p> <p> 永田 尚人氏 (株)熊谷組 プロジェクトエンジニアリング室 交通インフラグループ 部長)</p>
<p>E - 12 &lt;15:40~17:10&gt; 「エコ・ヒューマン・エンジニアリングに関する調査研究」</p> <p style="text-align: center;">&lt; 地下空間の開発利用分野 &gt; ( 地下利用推進部会担当 )</p> <p>平成 20 年度・平成 21 年度 調査活動報告) 「活動経緯と今後の活動について」</p> <p> 青柳 教之 ((財)エンジニアリング振興協会 地下開発利用研究センター 技術開発第一部 研究主幹)</p>
<p>E - 12 - &lt;15:50~16:10&gt; 「地下の優位性を活かした新たな利活用方法を探索する調査 専門部会 活動報告」</p>

三上 哲司氏 (株)大林組 生産技術本部 トンネル技術部 技術部長)

E - 12 - < 16:10 ~ 16:30 > 「地上の景観を保全するための地下利用に関する調査専門部会 活動報告」

岡田 滋氏 (清水建設(株) 土木技術本部 地下空間統括部 担当部長)

E - 12 - < 16:30 ~ 16:50 > 「都市域の地下水・再生水を活用する CO2 削減対策に関する調査 専門部会 活動報告」

平野 孝行氏 (西松建設(株) 土木設計部 部長)

E - 12 - < 16:50 ~ 17:10 > 「大深度地下インフラ施設の可能性に関する調査専門部会 活動報告」

高村 圭一氏 (鉄建建設(株) エンジニアリング本部 副本部長)

申込み要領：所定の申込み用紙により郵送あるいはファクスによりお申込み下さい。

ホームページからも申し込むことができます。( <http://www.ena.or.jp> )

### 3 . エンジニアリングシンポジウム 2010 開催案内

恒例のエンジニアリングシンポジウムが下記の日程で開催されます。

- ・開催日：平成22年10月27日(水) ~ 28日(木)
- ・会場：日本都市センター会館(昨年と同じ)

詳細は、次回9月号にてご案内いたします。会員各位多数のご参加をお願いします。

### 4 . 事務局異動

#### 退任・退職

- ・退任 3月31日付 原文夫 前総務企画部長  
(復帰元：3月31日付けでエン振協から新日鉄エンジニアリングに復職、同日付けで退職、4月1日付けで 新日本熱学(株)に転籍)
- ・退任 3月31日付 金光 雅弘 前技術調査部長代理  
(復帰元：国際石油開発帝石(株) 技術本部 技術基盤ユニット教育・研修グループ)
- ・退任 3月31日付 荒田 直 前技術調査部研究員  
(復帰元：(株)日本海洋生物研究所)
- ・退職 6月 1日付 菊池 強 前総務企画部長代理

#### 新任の挨拶

- ・着任 4月1日付 長谷川 久 総務企画部長(新日鉄エンジニアリング(株)より出向)



パイプライン・エネルギー関連の仕事を中心に、営業から工事まで殆どの業務を行ってきました。少しセッカチですので、ご迷惑をお掛けすると思いますが、皆さんと共に一層前向きで活発なSECにして行きたいと思っています。何なりとお申し付け下さい、出来る限り対応する所存です。

- ・ 着任 4月1日付 島山 孝 技術調査部部長代理（国際石油開発帝石(株)より出向）



私は石油・天然ガス開発における掘削技術および環境安全管理を専門分野としております。SEC 業務のお役に立てるよう努力する所存です。ご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

- ・ 着任 4月1日付 平田 敦洋 技術調査部研究員（(株)日本海洋生物研究所より出向）



出向元では水域の環境調査をしていました。私の専門はプランクトンである為、ずっと顕微鏡と向き合ってきました。当協会では顕微鏡を通して培った生物と環境の知識を活かし、かつ広い視野を持って業務に取り組みたいと思います。

## 会員の広場

### 1．日本エネルギー学会 天然ガス部会資源分科会ガスハイドレート研究会主催 第40回記念大会開催

平成 22 年 4 月 26 日（月）東京海洋大学品川キャンパス楽水会館において“ガスハイドレートの可能性～ナノから宇宙まで～”をテーマに標記大会が開催されました。

ハイドレートの構造や物性に関する基礎

的な解説から MH21 コンソーシアムなどの実務的な計画の紹介、さらにガスハイドレートの物性研究の最新動向まで、10 年にわたる研究会の集大成ともいえる充実した講演会でした。（古川 記）

### 2．海洋理工学会主催平成 22 年度春季大会開催

平成 22 年 5 月 20・21 日（木・金）海洋研究開発機構東京事務所セミナー室において「平成 22 年度海洋理工学会春季大会」が開催されました。21 日にはメタンハイドレ

ート開発促進事業においても開発が検討されている深海生態系モデル関係の発表があり大変興味深い内容でした。（平田 記）

### 3．東京大学エネルギー工学連携研究センター主催 東京大学エネルギー・環境特別シンポジウム開催

平成 22 年 6 月 3 日（木）東京大学生産技術研究所コンベンションホールにおいて“低炭素社会実現のための物質・エネルギー環境 -

物質・エネルギー統合モデルの提案 - ”をテーマに特別シンポジウムが開催されました。

## トピックス欄

「ENAA モデルフォーム プロセス・プラント国際標準契約書(ターンキー・ランプサム・ベース)」

## 2010年版刊行のご案内

当協会では、海外におけるプラント建設工事の標準約款として、『ENAA モデルフォーム』の初版を1986年に、同改訂版を1992年に刊行しました。これらは国内のみならず、広く海外のプラント・オーナー、エンジニアリング業界、法曹界などからも高い評価を受けておりますが、この度1992年版に更なる改訂を施し、2010年版として刊行しました。

▼詳細はこちら <http://www.ena.or.jp> What's New! 欄

### 産学人材交流センターからのお知らせ

当協会の会員企業のうち、大学生および大学院生を対象として社会や企業を知り、体験できる「インターンシップ」の実施状況と現在公募している状況を産学人材交流センターのホームページに掲載しました。

▼詳細はこちら <http://www.ena.or.jp> What's New! 欄

### ENAA/PMA 共催の国内最大のPM大会開催のご案内

#### 「PMシンポジウム2010 - 変化への挑戦」

日時：9月9日（木）・10日（金）

会場：タワーホール船堀（江戸川区総合区民ホール）都営新宿線「船堀駅」徒歩1分

主なプログラム概要：・基調講演1「今こそ求められるイノベーション」

横溝 陽一氏（慶應義塾大学理工学部 教授）

・基調講演2「羽田国際空港におけるD滑走路建設プロジェクト」

峯尾 隆二氏（鹿島建設(株)専務執行役員）

▼詳細はこちら <http://www.ena.or.jp> What's New! 欄

### METI ニュース

#### ○産業構造ビジョン2010（産業構造審議会産業競争力部会報告書）について

経済産業省は、このたび、産業競争力部会における「今日の日本の産業の行き詰まりや深刻さを踏まえ、今後、「日本は、何で稼ぎ、雇用していくのか」について最終報告書『産業構造ビジョン2010』をとりまとめましたので、公表いたします（2010年6月3日付）。

▼詳細はこちら <http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004660/index.html#vision2010>

#### お知らせ - ジェトロより

#### ○2010 中国国際工業博覧会「環境保護技術と設備展」に日本パビリオン出品者募集

ジェトロは、中国・上海で開催される2010 中国国際工業博覧会「環境保護技術と設備展」（会期：11月9日～13日）に参加し、日本企業・団体の出品を募り、日本パビリオンを構成します。出品についてご検討いただきたく、ご案内します。

▼詳細はこちら <http://www.jetro.go.jp/events/ciif2010>

拙句雑感：最近の新聞・テレビ等の普天間の問題からいろいろリーダー論が報道されて、30数年前学んだ“ビジネスリーダーに求められる能力のひとつに、三識（知識、見識、胆識）がある。”というリーダー論を思い出しました。会社人間参考書によると胆識という言葉は、陽明学者・東洋思想家の安岡正篤氏の造語とのことであり、仕事をする、問題を解決する、行動を起こすためには、知識、見識の段階を踏んだActionが求められる。氾濫する生データだけを使ってあたかもそれが自分の胆識であるかのようにふるまっても成功または目標を達成することはできない。生データから必要な情報を的確に拾い出し、その情報を基によく考え、検討し自分の知識とし、さらに客観的、多面的、時には中長期的な観点での熟考後それを見識とし、実際の行動に移す際の決断、断行ができるような胆識が求められると理解しました。このことは、いろいろな組織（政・官・学・産業界）でもリーダー論として当てはまるのではないかと考える次第です。（SEC ニュース編集者）